

## 平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月10日

上場会社名 日本パーカライジング株式会社  
 コード番号 4095 URL <http://www.parker.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

(氏名) 小野 駿  
 (氏名) 石川 信博  
 配当支払開始予定日

TEL 03-3278-4410

平成20年12月10日

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	50,983	—	6,876	—	7,586	—	3,760	—
20年3月期第2四半期	48,139	5.5	6,096	△2.4	7,109	2.6	3,886	4.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	59.03	—
20年3月期第2四半期	60.06	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
21年3月期第2四半期	131,498	—	77,350	—	49.7	1,025.83
20年3月期	132,595	—	77,240	—	48.9	1,017.69

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 65,338百万円 20年3月期 64,825百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	10.00	—	12.50	22.50
21年3月期	—	12.50	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	102,500	△1.0	14,300	1.1	15,700	1.5	8,100	0.1	127.17

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)  
① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 有  
(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

## (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期	66,302,262株	20年3月期	66,302,262株
② 期末自己株式数	21年3月期第2四半期	2,608,554株	20年3月期	2,603,514株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第2四半期	63,696,943株	20年3月期第2四半期	64,714,846株

## ※連結業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 上記の連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の連結業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。なお、上記連結業績予想に関する事項は、4ページをご覧ください。
- 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)における世界経済は、米国のサブプライム問題などにより金融市場の安定が失われ、資源価格の大幅な上昇や消費意欲の減少により、世界規模で景気減速感が高まってまいりました。国内経済も、欧米を中心とした購買力低下による輸出の減少など、長期にわたり持続していた景気拡大も後退局面に向かい始めるなど厳しい状況となりました。

## 【連結決算の概況】

(単位:百万円)

	売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	四半期純利益
当第2四半期(平成21年3月期)	50,983	17,308	6,876	7,586	3,760
前第2四半期(平成20年3月期)	48,139	16,221	6,096	7,109	3,886
増減率	5.9%	6.7%	12.8%	6.7%	3.3%

当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高は前年同期比5.9%増収の50,983百万円、営業利益は12.8%増益の6,876百万円となりました。増収増益基調は持続されましたが、リン酸などの主要原材料が大幅に高騰するとともに、自動車業界などの生産活動も縮小してまいりました結果、第1四半期累計期間と比較して、業績の伸び率は緩やかなものとなり減速感が強まってまいりました。また、営業外収支では、為替差損益が前第2四半期は63百万円の差益が計上されましたが、当第2四半期では139百万円の差損が計上されるなど、前年同期比で303百万円減少したことから、経常利益の増益幅が縮小し6.7%増益の7,586百万円となりました。また、投資有価証券評価損などの特別損失の増加と海外に比べ税率の高い国内収益の割合が高まり税金費用が増加したことから、四半期純利益は3.3%減益の3,760百万円となりました。

## 【事業の種類別セグメントの概況】

(単位:百万円)

事業の種類	外部顧客に対する売上高				営業利益			
	当第2四半期	前第2四半期	増減額	増減率	当第2四半期	前第2四半期	増減額	増減率
薬品事業	21,384	20,459	924	4.5%	4,615	4,386	228	5.2%
装置事業	8,522	6,836	1,686	24.7%	139	137	276	-
加工事業	19,328	19,385	56	0.3%	4,070	4,014	56	1.4%
その他の事業	1,748	1,457	290	19.9%	131	107	24	22.9%
消去	-	-	-	-	2,080	2,274	194	-
連結	50,983	48,139	2,844	5.9%	6,876	6,096	780	12.8%

薬品事業の売上高は、21,384百万円と前年同期比4.5%の増収となり、営業利益は4,615百万円と5.2%の増益となりました。高付加価値製品へのシフトと金属表面処理剤、圧延油、防錆油の出荷が鉄鋼業界向けなどで増加したことにより、原材料価格の高騰によるコスト増加をカバーした結果となりましたが、リン酸などの価格高騰の影響による収益性の低下が夏場過ぎから顕著になってきており、今後の収益性維持が大変厳しい状況となってまいりました。

装置事業の売上高は、8,522百万円と前年同期比24.7%の増収となり、営業利益は139百万円の黒字(前第2四半期は137百万円の赤字)となりました。国内の自動車メーカー向けに金属表面処理装置の売上が順調に推移いたしました。前第2四半期では不採算な設備受注があり低調に推移いたしました。当第2四半期の営業利益は黒字に転換いたしました。

加工事業の売上高は19,328百万円と前年同期比0.3%の減収となり、営業利益は4,070百万円と1.4%の増益となりました。付加価値の高い加工処理の拡販と原価低減の徹底により収益は横ばいで推移いたしました。自動車部品や機械部品の受注が伸びず厳しい状況で推移しております。地域別では、国内及びタイの加工事業は比較的順調に推移いたしました。前期好調に推移したベトナムや北米における熱処理事業では受注減少から厳しい状況となっております。

その他の事業の売上高は、ビルメンテナンス事業の売上増加により 1,748 百万円と前年同期比 19.9%の増収となり、営業利益は 131 百万円と 22.9%の増益となりました。

### 【所在地別セグメントの概況】

(単位：百万円)

所在地	外部顧客に対する売上高				営業利益			
	当第2 四半期	前第2 四半期	増減額	増減率	当第2 四半期	前第2 四半期	増減額	増減率
日 本	38,749	36,034	2,714	7.5%	7,119	6,447	672	10.4%
ア ジ ア	9,907	9,463	443	4.7%	1,478	1,450	27	1.9%
欧 米	2,326	2,640	313	11.9%	317	349	32	9.2%
消 去	-	-	-	-	2,038	2,151	113	-
連 結	50,983	48,139	2,844	5.9%	6,876	6,096	780	12.8%

当第2四半期は、日本国内の業績が比較的順調に推移いたしましたが、前期までけん引役を果たしていたアジア地域は、円高の影響もあり低調なものとなりました。特に韓国、ベトナムなどは売上高減少により減益幅が大きくなっております。欧米についても、自動車部品の受注減少から加工事業の売上が減少するなど厳しい状況で推移しております。アジアと欧米をあわせた現地レートでの海外業績は、売上高、営業利益ともに10%程度の増収増益基調は維持されておりますが、円貨換算後では、売上高は1.1%の増収、営業利益は0.2%の減益となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産等の状況に関する分析)

資産合計は、前期末と比較し1,097百万円減少し、131,498百万円となりました。主な増減といたしましては、流動資産では、現金及び預金は1,364百万円減少いたしましたが、事業拡大に伴い受取手形及び売掛金が677百万円、設備関係の未成工事支出金などたな卸資産が1,947百万円それぞれ増加いたしました。また、固定資産では、減価償却などにより有形固定資産が1,017百万円減少し、投資その他の資産では、所有株式の時価下落などにより投資有価証券が1,837百万円減少いたしました。

負債合計は、前期末と比較し1,207百万円減少し、54,147百万円となりました。主な増減といたしましては、短期借入金及び一年以内返済予定の長期借入金あわせて1,741百万円、未払金など流動負債のその他が1,228百万円それぞれ減少いたしましたが、前受金が1,182百万円増加いたしました。

少数株主持分を含めた純資産合計は、前期末と比較し109百万円増加し77,350百万円となりました。主な増減といたしましては、利益剰余金が2,802百万円増加いたしましたが、その他有価証券評価差額金643百万円、為替換算調整勘定が1,424百万円、少数株主持分が403百万円それぞれ減少いたしました。

以上の結果、自己資本比率は、49.7%と前期末から0.8%増加いたしました。

(キャッシュ・フローの状況に関する分析)

営業活動によるキャッシュ・フローは、4,572百万円の収入となりました。主な増加項目といたしましては、税金等調整前四半期純利益は7,303百万円、減価償却費が2,158百万円、前受金の増減額が1,325百万円であり、主な減少項目は、売上債権の増減額が1,105百万円、棚卸資産の増減額が2,211百万円、法人税等の支払額が3,005百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,478百万円の支出となりました。主な項目といたしましては、有形固定資産の取得による支出が2,253百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,916百万円の支出となりました。主な項目といたしましては、短期・長期借入金あわせ純額で返済が1,676百万円、配当金の支払額が780百万円であります。また、現金及び現金同等物に係る換算差額により956百万円減少いたしました。

以上の結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1,778百万円減少し、18,736百万円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

(通期の見通し)

当第2四半期累計期間の連結業績は、ほぼ期初の計画通りに推移しておりますが、業績予想の開示時点(平成20年5月15日)の想定レートから全般的に円高傾向が強まり、株式相場も著しく下落し、10月には日経平均が20数年ぶりの安値を記録いたしました。また、国内外ともに景気の減速感が強まるなか、表面改質の市場は大変厳しい価格競争が続いております。しかしながら、当第2四半期において業績予想の再検討を行いました。海外の為替換算の目減り分を国内事業である程度カバーしており、期初の通期業績予想の変更はありません。しかしながら、今後につきましては景気後退の進行状況、為替レートや株式相場の変動など先の読めない不安定な状況となっております。当社グループは、国内外の市場ニーズを着実に捕え、迅速に対応していくとともに、次世代技術の研究開発に積極的に取り組み、企業体質の強化と収益の向上に努めてまいります。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

1) 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

3) 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

4) 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

5) 連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去

連結会社相互間の債権と債務の相殺消去

当該債権の額と債務の額に差異が見られる場合には、合理的な範囲内での当該差異の調整を行わないで債権と債務を相殺消去しております。

連結会社相互間の取引を相殺消去

取引金額に差異がある場合で当該差異の重要性が乏しいときには、親会社の金額に合わせる方法により相殺消去しております。

6) 未実現損益の消去

四半期連結会計期間末在庫に占める当該棚卸資産の金額及び当該取引に係る損益率を合理的に見積もって計算しております。

#### 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

##### 1) 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果的適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

#### (3) 四半期連結財務諸表に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

##### 「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準等12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

##### 「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

たな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。これに伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

##### 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これに伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

##### 「リース取引に関する会計基準」等の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会) 平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会) 平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、期首に前連結会計年度末における未経過リース料残高を取得価額として取得したもとしてリース資産に計上する方法によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。これに伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

#### (追加情報)

当社及び国内連結子会社の機械装置の耐用年数については、当第1四半期連結会計期間より、法人税法の改正を契機として見直しを行いました。これに伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 5. 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	20,476	21,841
受取手形及び売掛金	33,439	32,761
商品及び製品	1,968	1,894
仕掛品	3,764	2,440
原材料及び貯蔵品	3,997	3,448
その他	3,140	2,956
貸倒引当金	63	109
流動資産合計	66,723	65,232
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
土地	14,391	14,534
その他(純額)	23,171	24,046
有形固定資産合計	1, 37,563	1, 38,580
無形固定資産	2 1,820	2 1,885
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	19,473	21,310
その他	6,161	5,804
貸倒引当金	243	218
投資その他の資産合計	25,390	26,896
固定資産合計	64,774	67,362
資産合計	131,498	132,595
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	19,081	18,411
短期借入金	3,929	4,396
1年内返済予定の長期借入金	1,340	2,615
未払法人税等	2,483	2,865
賞与引当金	2,530	2,585
その他	7,886	7,894
流動負債合計	37,252	38,768
<b>固定負債</b>		
長期借入金	5,036	5,028
退職給付引当金	10,512	10,586
その他	1,346	971
固定負債合計	16,895	16,586
負債合計	54,147	55,354

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,560	4,560
資本剰余金	3,913	3,913
利益剰余金	56,592	53,789
自己株式	2,022	2,014
株主資本合計	63,045	60,250
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,455	4,098
繰延ヘッジ損益	490	276
為替換算調整勘定	671	752
評価・換算差額等合計	2,293	4,575
少数株主持分	12,011	12,415
純資産合計	77,350	77,240
負債純資産合計	131,498	132,595

## (2) 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	50,983
売上原価	33,675
売上総利益	17,308
販売費及び一般管理費	10,431
営業利益	6,876
営業外収益	
受取利息	100
受取配当金	258
受取賃貸料	141
持分法による投資利益	331
その他	315
営業外収益合計	1,147
営業外費用	
支払利息	114
為替差損	139
支払手数料	119
その他	63
営業外費用合計	437
経常利益	7,586
特別利益	
固定資産売却益	14
投資有価証券売却益	21
その他	4
特別利益合計	40
特別損失	
投資有価証券評価損	282
その他	41
特別損失合計	323
税金等調整前四半期純利益	7,303
法人税等	2,725
少数株主利益	818
四半期純利益	3,760



## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位:百万円)

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	7,303
減価償却費	2,158
減損損失	14
貸倒引当金の増減額(は減少)	13
賞与引当金の増減額(は減少)	54
退職給付引当金の増減額(は減少)	102
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	36
受取利息及び受取配当金	359
支払利息	114
為替差損益(は益)	164
持分法による投資損益(は益)	331
有形固定資産除却損	20
売上債権の増減額(は増加)	1,105
たな卸資産の増減額(は増加)	2,211
前渡金の増減額(は増加)	239
仕入債務の増減額(は減少)	900
未払金の増減額(は減少)	1,031
未払費用の増減額(は減少)	89
前受金の増減額(は減少)	1,325
未払消費税等の増減額(は減少)	198
預り金の増減額(は減少)	3
その他	224
小計	7,181
利息及び配当金の受取額	523
利息の支払額	127
法人税等の支払額	3,005
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,572
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	2,253
有形固定資産の売却による収入	70
投資有価証券の取得による支出	365
投資有価証券の売却による収入	675
定期預金の預入による支出	602
定期預金の払戻による収入	157
子会社株式の取得による支出	57
その他	103
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,478
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入れによる収入	3,406
短期借入金の返済による支出	3,870
長期借入れによる収入	1,014
長期借入金の返済による支出	2,226
自己株式の取得による支出	7
配当金の支払額	780
少数株主への配当金の支払額	216
その他	234
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,916
現金及び現金同等物に係る換算差額	956
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,778
現金及び現金同等物の期首残高	20,515
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,736

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

#### (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

#### (5) セグメント情報

##### a. 事業の種類別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日) (単位:百万円)

	薬品 事業	装置 事業	加工 事業	その他 の事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	21,384	8,522	19,328	1,748	50,983	-	50,983
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	717	85	11	893	1,708	(1,708)	-
計	22,101	8,608	19,340	2,641	52,692	(1,708)	50,983
営業費用	17,486	8,469	15,269	2,510	43,735	371	44,106
営業利益	4,615	139	4,070	131	8,957	(2,080)	6,876

##### b. 所在地別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日) (単位:百万円)

	日本	アジア	欧米	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	38,749	9,907	2,326	50,983	-	50,983
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,374	37	-	1,412	(1,412)	-
計	40,124	9,944	2,326	52,395	(1,412)	50,983
営業費用	33,004	8,466	2,009	43,480	626	44,106
営業利益	7,119	1,478	317	8,915	(2,038)	6,876

##### c. 海外売上高

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日) (単位:百万円)

	アジア	北米	その他の地域	計
海外売上高	11,161	2,108	882	14,153
連結売上高				50,983
連結売上高に占める 海外売上高の割合	21.9%	4.1%	1.8%	27.8%

#### (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 6. その他の情報

## 注記事項

## (四半期連結貸借対照表関係)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
1	有形固定資産から直接控除した償却累計額は、46,052百万円であります。	有形固定資産から直接控除した償却累計額は、45,306百万円であります。
2	のれん 152百万円 その他 1,668	のれん 160百万円 その他 1,725
3	担保資産 (1) 担保に供している資産 建物 1,116百万円 構築物 2 機械装置 22 土地 1,945 自己株式 436 合計 3,523 (2) 担保資産に対応する債務 短期借入金 990百万円 一年以内返済予定の 長期借入金 422 長期借入金 515 合計 1,927	担保資産 (1) 担保に供している資産 建物 1,262百万円 構築物 2 機械装置 25 土地 1,944 自己株式 436 合計 3,671 (2) 担保資産に対応する債務 短期借入金 990百万円 一年以内返済予定の 長期借入金 1,046 長期借入金 999 合計 3,035
4	偶発債務 連結会社以外の下記会社の金融機関借入金に対し債務保証を行っております。 ミリオン化学(株) 618百万円 瀋陽パーカライジング 50 合計 668	偶発債務 連結会社以外の下記会社の金融機関借入金に対し債務保証を行っております。 ミリオン化学(株) 642百万円 瀋陽パーカライジング 50 合計 692
5	受取手形割引高は、50百万円であります。	受取手形割引高は、49百万円であります。

## (四半期連結損益計算書関係)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
1	販売費及び一般管理費のうち主要な科目及び金額は、次のとおりであります。 従業員給料 3,027百万円 賞与引当金繰入額 1,571 法定福利費 620 旅費交通費 495 運送費 818
2	当四半期連結会計期間における税金費用については、四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理により計算しているため、「法人税及び事業税と法人税等調整額」は、「法人税等合計」に一括して表示しております。

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
1	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金 20,476百万円 預金期間が3ヶ月を超える 定期預金 1,740 現金及び現金同等物 18,736

## 「参考資料」

## 前年同四半期に係る財務諸表

## (1) 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	前中間連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	
	金額	比率
売 上 高	48,139	100.0 %
売 上 原 価	31,917	66.3
売 上 総 利 益	16,221	33.7
販売費及び一般管理費	10,124	21.0
営 業 利 益	6,096	12.7
営 業 外 収 益	( 1,258 )	( 2.6 )
1 受取利息及び配当金	339	
2 受取賃貸料	85	
3 受取技術料	107	
4 持分法による投資利益	337	
5 雑 収 益	388	
営 業 外 費 用	( 245 )	( 0.5 )
1 支 払 利 息	146	
2 雑 費 用	99	
経 常 利 益	7,109	14.8
特 別 利 益	52	0.1
特 別 損 失	112	0.2
税金等調整前中間純利益	7,049	14.7
法 人 税 等	2,259	4.7
少数株主への振替利益	902	1.9
中間純利益	3,886	8.1

## (2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	期 間	前 中 間 連 結 会 計 期 間 (自 平成19年4月 1日 至 平成19年9月30日)
	金 額	
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益		7,049
減価償却費		1,865
減損損失		54
貸倒引当金の減少額		48
賞与引当金の減少額		159
退職給付引当金の減少額		349
役員退職慰労引当金の減少額		76
受取利息及び受取配当金		339
支払利息		146
為替差損益		98
持分法による投資利益		337
有形固定資産除却損		29
売上債権の増加額		713
たな卸資産の増加額		1,244
前渡金の増加額		56
仕入債務の増加額		271
前受金の増加額		1,244
未払消費税等の減少額		26
その他		381
小 計		7,592
利息及び配当金の受取額		441
利息の支払額		141
法人税等の支払額		2,796
営業活動によるキャッシュ・フロー		5,096
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入れによる支出		129
定期預金の払戻しによる収入		57
有価証券の取得による支出		512
有価証券の売却による収入		167
有形固定資産の取得による支出		2,174
有形固定資産の売却による収入		31
貸付による支出		25
貸付金の回収による収入		63
その他		225
投資活動によるキャッシュ・フロー		2,747
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入による収入		843
短期借入金の返済による支出		622
長期借入による収入		130
長期借入金の返済による支出		1,406
自己株式の取得による支出		68
少数株主からの払込みによる収入		266
配当金の支払額		698
少数株主への配当金の支払額		134
その他		2
財務活動によるキャッシュ・フロー		1,692
現金及び現金同等物に係る換算差額		591
現金及び現金同等物の増加額		1,248
現金及び現金同等物の期首残高		16,244
現金及び現金同等物の中間期末残高		17,493

## (3) セグメント情報

## a. 事業の種類別セグメント情報

前中間連結会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	薬品 事業	装置 事業	加工 事業	その他 の事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	20,459	6,836	19,385	1,457	48,139	-	48,139
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	728	147	12	897	1,785	(1,785)	-
計	21,188	6,983	19,397	2,355	49,924	(1,785)	48,139
営業費用	16,801	7,120	15,383	2,247	41,553	488	42,042
営業利益又は営業損失( )	4,386	137	4,014	107	8,370	(2,274)	6,096

## b. 所在地別セグメント情報

前中間連結会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	欧米	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	36,034	9,463	2,640	48,139	-	48,139
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,351	202	-	1,553	(1,553)	-
計	37,385	9,666	2,640	49,692	(1,553)	48,139
営業費用	30,938	8,215	2,290	41,444	597	42,042
営業利益	6,447	1,450	349	8,248	(2,151)	6,096